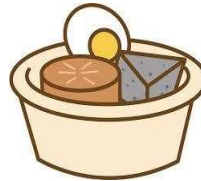


# 校長室だより 2月号③

1年間で最も日数の少ない2月ですが、いろいろな行事があります。そのなかで、子どもの成長を強く感じることができました。10か月前に入学してきた1年生も、頼もしいお兄さん・お姉さんぶりを発揮していました。子どもの成長、学びって本当にすごいなあ実感しています。

## 2年生 楽しかったおでんづくり



2年生が、学級園で栽培していた大根を使っておでんづくりをしました。担任の堀井先生や天満先生に教えてもらいながら、大根を切ったりおでんだねをだしに入れたりして、大きなお鍋いっぱいのおでんを作りました。わたしもいただきましたが、とても上品な味でおいしかったです。また、包丁の使い方や火の取り扱いにも気をつけ、安全に調理もでき、いつもとはちがった体験ができました。2年生のすてきな思い出がまた一つできました。



## 新入生体験入学

2月12日(水)、市内の5つの所・園から参加した来年度の新入生が、1年教室で1年生と楽しく体験入学をしました。(2/14現在 来年度の新入生は18名の予定です)1年生は、新入生一人一人の様子をみながらやさしく教えたり声かけしたりできました。1年生も4月になれば、お兄さんお姉さんになります。とても頼もしく感じます。本当に1年間の成長ってすごいものですね。



## パラリンピック種目

2月5日(水)本年度最後の授業参観。3年生は、東京パラリンピックの種目にもなっている「ボッチャ」と「シッティングバレー」について発表し、体験しました。どうして、このような種目があるのか、ルールはどのようなことに配慮して決められたのか。オリンピック・パラリンピックイヤー、グローバル(世界的)な視点から、そして、

いろいろな立場から物事を見直したり考えたりする機会が多くあると思います。わたしたちも、「大切にすべきことは何なのか」を子どもたちとともに考えていきたいです。

